

## 平成 16 年度 / 第 6 回 理事会 議事録

日 時：平成 17 年 4 月 21 日（木）15 時～17 時 30 分

場 所：電気学会 第 1～4 会議室

出席者：川村会長，長谷川会長代理，鈴木・生駒（代理：西上氏）・雨谷・尾形 各副会長，臼田・高木・松瀬・佐々木 各常務理事，村岡専務理事，平塚・貞川 各監事，井上・石井・下位・大西 各部門長，森泉準部門長，西谷（代理：北氏）・前川（代理：秋山氏）・塚本・松井・作井・島崎・白髭・原田・芦塚（代理：森田氏） 各支部長  
オブザーバ 川畑・戸谷・後藤・清水  
事務局 櫛間事務局長・蘆立事務局長代理，他 5 名

配布資料：

平成 16 年度 / 第 5 回 理事会 議事録（案）

- 1 - 1 平成 16 年度 事業報告
- 1 - 2 平成 16 年度 事業報告（案）の審議（支部・部門・特別委員会），他
- 2．平成 17 年度 事業計画
- 3．収支決算報告（平成 16 年 4 月 1 日から平成 17 年 3 月 31 日まで）
- 4．第 43 回功績賞・第 14 回業績賞・第 61 回電気学術振興賞・第 8 回優秀技術活動賞  
選出者一覧（平成 17 年）
- 5．「会員の知識・経験流通サービス」の開始について，他
- 6．IEEJ パートナー認定審査のお願い，他
- 7．機関別認証評価に係わる専門委員候補者の推薦について
- 8．「技術者倫理検討委員会（仮称）」設置趣意書（案），他
- 9．平成 17 年度 会員増員キャンペーン（案）
- 10．基礎・材料・共通部門の H17 年度副部門長の選出の件
- 11．平成 17 年度四国支部役員候補者の交代について
- 12．「電気学会における産官学連携の今後の推進方策」の推進について
- 13．2005 年 3 月会員入（退）会の承認について
- 14．平成 16 年度 監査報告書
- 15．平成 16 年度 評議員会 議事録（案）
- 16．会計会議の取り組みについて（中間報告）
- 17．上級会員認定にあたっての「活動項目」および「評価点」追加について【ご報告】
- 18．平成 17 年電気学会全国大会報告（速報版）
- 19．事業概況報告
- 20．第 93 回通常総会（5 月 20 日開催）終了後のタイムスケジュール

議事概要：

定刻に開会し，臼田総務企画理事の議事進行により議案の審議に入った。

### 1．前回議事録の確認

資料「平成 16 年度 / 第 5 回 理事会 議事録（案）」に基づき，臼田総務企画理事から事前に配布してすでに確認頂いているが，その後の修正箇所等の有無を確認した結果，異議なく承認された。

## 2. 審議事項

### 2.1 平成 16 年度 事業報告案（前文関係）について

村岡専務理事から資料 1 - 1「平成 16 年度 事業報告」に基づき、前回理事会以降のご意見を反映させ、「5. 学会組織・運営基盤の整備」の 5) OA システム更新の箇所に、OA 更新システムの愛称「iee システム」を追加した旨の説明があった。審議の結果、承認された。なお、追加の意見があれば村岡専務理事へ連絡することとした。

### 2.2 平成 16 年度 事業報告案（部門・支部・特別委員会）について

各部門長・各支部長および蘆立事務局代理から資料 1 - 2「平成 16 年度 事業報告（案）の審議（支部・部門・特別委員会）、他」に基づき、各支部・部門・特別委員会ごとに事業計画に対する事業実績を中心に説明があり審議の結果、承認された。

なお、「超電導機器の導入効果と試験法調査特別委員会」については、平成 12 年 11 月に設置され、超電導送変電分野の IEC 国際規格化を目的とした試験法の技術仕様書（TS）試案の作成を行い、5 年間にわたる調査研究の成果を最終報告書にまとめ、活動を終了することが承認された。

また、議論があった文部科学省の科学研究費補助金については、採択取得に向け、今後は不採択事由などの参考情報を「一覧表」に取りまとめ、総務会議等の場で支部・部門等へ連絡を行っていくこととした。

### 2.3 平成 17 年度 事業計画案（前文関係）について

村岡専務理事から資料 2「平成 17 年度 事業計画」に基づき、相互研鑽（ピアレビュー）の推進など 5 つの大項目ごとに説明があり、審議の結果、承認された。なお、追加の意見があれば村岡専務理事へ連絡することとした。

### 2.4 平成 16 年度 収支決算報告について

高木会計理事から資料 3「収支決算報告（平成 16 年 4 月 1 日から平成 17 年 3 月 31 日まで）」に基づき、次のとおり説明があり審議の結果、承認された。

- ・一般会計と支部会計間の内部取引を消去した後の全社決算額は、当期収入 912,493,982 円、当期支出 880,689,380 円、当期収支差額 31,804,602 円、次期繰越収支差額 381,240,245 円となった。
- ・一般会計では当期収入 888,763,004 円、当期支出 863,390,924 円、当期収支差額 25,372,080 円、次期繰越収支差額 302,791,805 円となった。
- ・特別会計では当期収入 10,411,486 円、当期支出 4,230,895 円、当期収支差額 6,180,591 円、次期繰越収支差額 47,179,821 円となった。
- ・支部会計では当期収入合計 40,340,057 円、当期支出合計 40,088,126 円、当期収支差額 251,931 円、次期繰越収支差額 31,268,619 円となった。
- ・会費収入、事業収入は減少傾向にあるが、各種のコストダウン効果が出ている。

### 2.5 平成 17 年表彰受賞者の決定について

鈴木副会長から資料 4「第 43 回功績賞・第 14 回業績賞・第 61 回電気学術振興賞・第 8 回優秀技術活動賞 選出者一覧（平成 17 年）」に基づき、表彰委員会において第 43 回功績賞 1 件、第 14 回業績賞 5 件、第 61 回電気学術振興賞 17 件（内訳：進歩賞 8 件、論文賞 8 件、著作賞 1 件）、第 8 回優秀技術活動賞 10 件（内訳：技術報告賞 8 件、特別賞 1 件、グループ著作賞 1 件）の受賞者を選出したとの説明があり審議の結果、承認された。

## 2.6 IEEJ プロフェッショナル制度の開始について

蘆立事務局長代理から資料 5「会員の知識・経験流通サービスの開始について」および資料 6「IEEJ パートナー認定審査のお願い」に基づき、本制度の背景および目的・ビジネスモデル（IEEJ パートナーとのアライアンス、学会の収入）・IEEJ パートナーの認定資格などを中心に説明があった。審議の結果、下記のとおり承認された。

「会員の知識・経験流通サービス」を電気学会のサービスとして運用開始を承認する。  
IEEJ パートナーとして、マイウェイ・テクノサービス株式会社を認定する。

## 2.7 機関別認証評価に係わる専門委員候補者の推薦について

尾形副会長から資料 7「機関別認証評価に係わる専門委員候補者の推薦について」に基づき、大学評価・学位授与機構から機関別認証評価に係わる専門委員候補者の推薦依頼があり、前例に従って最近の学会本部役員ならびに部門長経験者の方々の中から、国公私立大学のバランス、地域、その他を考慮の上、雨谷昭弘氏（同志社大学）他 8 名を推薦したいとの提案があり、審議の結果、承認された。

## 2.8 「技術者倫理検討委員会」設置提案（第 2 回目）について

村岡専務理事から資料 8「技術者倫理検討委員会（仮称）設置趣意書（案）」に基づき、前回理事会の意見を反映させ、目的・調査検討項目などに修正を加えた設置趣意書（案）について説明があり審議の結果、設置が承認された。

## 2.9 会員増員キャンペーンについて

白田総務企画理事および事務局から資料 9「平成 17 年度 会員増員キャンペーン（案）」に基づき、次のとおり説明があり審議の結果、事業維持員など法人会員向けの PR や退会防止用チラシの作成も併せて考えることとし、承認された。

- ・総務会議の下部組織である「会員サービス改善 WG（主査：白田誠次郎総務企画理事）」を中心に検討され、平成 16 年度 / 第 4 回総務会議において、承認された案件である。
- ・平成 15 年度末会員数を、17 年度末までに 5% アップさせることを目標とし、各支部・部門の特徴に応じた増員活動を展開頂く。
- ・会員増員活動と並行して、退会防止活動に力を注がなければならない。平成 15 年度退会者数 3,097 名を、1,900 名程度まで減少させることを目標とする。特に中高年齢者の退会防止については、別途新しい会員種別の検討などを推進する。
- ・宣伝用学会誌・論文誌および電気学会案内パンフレット・電気学会ロゴマーク入りの入会勧誘用チラシなどを準備し、学会活動推進員等を通じて広く配布していく。特にチラシについてはタイミングを見て会誌に付録として同封し、会員から非会員の方へご紹介の際に活用頂く。

### 【主な意見（ご参考）】

- ・事業維持員のニーズ分析やメリットの見直しも考えるべきだ。
- ・チラシ裏面の「会員の声」には、学会に残って良かったとの中高年齢会員の声を載せると 60 歳以上の方々の退会防止に対して効果的ではないか。
- ・会費滞納による除籍の取扱いは、慎重に行わなくてはならない。
- ・准員の取扱いについて検討が必要ではないか。

## 2.10 A 部門の平成 17 年度副部門長の選出について

井上 A 部門長から資料 10「基礎・材料・共通部門の H17 年度副部門長の選出の件」に基づき、A 部門の後任副部門長である日高邦彦氏が、平成 17 年度本部役員に選出されたため、規程に則

り A 部門役員会において審議の結果、次のとおり推薦することとなった旨説明があった。審議の結果、平成 17 年度任期 1 年間で新藤氏を A 部門副部門長とすることが承認された。

日高邦彦氏(東京大学) 新藤孝敏氏(電力中央研究所/現:A 部門前任総務企画担当役員)

#### 2.11 平成 17 年度四国支部役員候補者の交代について

原田四国支部長から資料 11「平成 17 年度四国支部役員候補者の交代について」に基づき、平成 17 年度役員選挙で選出された協議員候補者が次のとおり交代することとなった旨、説明があり審議の結果、承認された。

四国支部協議員候補：中越吉彦氏(四国電力) 鈴木雅士氏(四国電力)

#### 2.12 「電気学会における産学官連携の今後の推進方策」の推進について

蘆立事務局長代理から資料 12「電気学会における産学官連携の今後の推進方策の推進について」に基づき、活動実績と抽出された主な課題・電気学会に期待される役割・役割実現のための組織の形成などについて説明があった。審議の結果、下記のとおり進めることで承認された。

・電気学会会員へのサービスのひとつとして、事務局機能を強化し、国の資金を活用して産学官連携テーマを推進する。

#### 2.13 会員入(退)会の承認

櫛間事務局長から資料 13「2005 年 3 月会員入(退)会の承認について」に基づき説明があり審議の結果、承認された。ただし、議論があった除籍対象者をしばらく休止扱いにする件については、具体的な運用策を会員サービス改善 WG 等で検討することとした。

- ・個人会員入会者数 : 179 名
- ・個人会員退会者数 : 1,108 名
- ・事業維持会員入会数 : 0 社(0 口)
- ・事業維持会員退会数 : 0 社(0 口)
- ・事業維持会員口数変更 : 0 社(0 口)

なお、平成 17 年 3 月末の会員数は、個人会員 24,328 名、事業維持会員 481 社(3,354 口)となった。また、前回理事会において事業維持員の退会もしくは口数減口の申し出があった 4 社について、引留要請などその後の進捗状況の報告があった。

### 3. 報告事項

#### 3.1 平成 16 年度 業務監査報告

平塚監事から資料 14「平成 16 年度 監査報告書」に基づき、全般・総務企画・会計・編修・研究経営など項目ごとに、17 年度以降の活動に対する要望事項を中心に業務監査報告があった。

#### 3.2 平成 16 年度 評議員会概要報告

村岡専務理事から資料 15「平成 16 年度 評議員会 議事録(案)」に基づき、去る 4 月 15 日に開催され、出席者 17 名(代理出席 2 名を含む)・委任状 29 名で定足数を満たし成立した旨の報告および主な意見の紹介があった。

#### 3.3 会計会議の取り組み(中間報告)について

高木会計理事支援者の後藤氏から資料 16「会計会議の取り組み(中間報告)」に基づき、平成 16 年 4 月に報告された「経営改革特別委員会活動報告書」において、今後継続して検討していくことが求められた課題のうち会計会議が引き継いだ課題「予算方式の見直し」について平成 18 年度予算編成時からの導入(平成 17 年度試行)に向けて 2 つの WG(「予算方式見直し WG 活動と適正な支部交付金のあり方 WG」)を設置して取り組んでおり、見直し案等これまでの検

討状況について中間報告があった。

### 3.4 上級会員認定にあたっての「活動項目」および「評価点」追加について

事務局から資料 17「上級会員認定にあたっての「活動項目」および「評価点」追加について」に基づき、上級会員制度導入後 2 年が経過し、更なる活性化の必要性が指摘されたため、上級会員候補者の推薦母体である各支部・部門からご意見を頂き、総務会議において審議の結果、次のとおり「活動項目」および「評価点」を追加することが承認されたとの報告があった。

	活動項目（追加）	評価点
1	部門長・支部長を含め、すべての理事・監事経験者（ただし、在職期間中は評価点を付与せず、任期満了後付与する）	8
2	支部監事	4

### 3.5 平成 17 年度全国大会概要報告について

事務局から資料 18「平成 17 年電気学会全国大会報告（速報版）」に基づき、皆様にご協力賜り盛会裡に終了することができた旨の御礼と論文集の売上げ減少に対する歯止め策が必要と考えているが、今回は最終的には 200 万円程度の黒字を見込んでいるとの報告があった。

### 3.6 事業概況報告

櫛間事務局長から資料 19「事業概況報告」に基づき、学会誌・部門誌の掲載ページ数、図書出版、研究調査会・電気規格調査会の委員会開催数などについて、平成 16 年 4 月から平成 17 年 3 月までの実績報告があった。

### 3.7 第 93 回通常総会（5 月 20 日開催）終了後のタイムスケジュール

事務局から資料 20「第 93 回通常総会（5 月 20 日開催）終了後のタイムスケジュール」に基づき、通常総会終了後に開催される引継ぎ理事会および第 1 回理事会の会場について、これまでは通常総会会場から電気学会会議室に移動して開催されていたが、移動時間がかかることから、今回からは通常総会会場である全共連ビル内に会議室を確保し、理事会および新旧理事会メンバー懇親会も同ビル内の施設で開催する旨の連絡があった。

### 川村会長挨拶

平成 16 年度の実質的な最終理事会につき、川村会長から 1 年間のご尽力に対する御礼と反省点を含めた挨拶があった。

以上、すべての議案の審議を終了し 17 時 30 分閉会した。

平成 17 年 5 月 20 日

社団法人 電気学会

議事録署名人 川村 隆

議事録署名人 鈴木 登夫

議事録署名人 臼田誠次郎